

テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議

活動通信

第5号(2018年2月)



中東情勢の変化

- ◇ イラクやシリアで掃討されたとされるISILは、その残党が世界各国に散らばったと言われていますが、アフガニスタン等に新たな拠点を作ろうとしているとの見方もあります。また、ISILと対立しているタリバン勢力も自爆テロ等の襲撃事件を起こすなど、アフガニスタンを始めとする中東各国では、テロを食い止められない状態となっています。
- ◇ 一方、ISILが姿を消したとされるシリアにおいては、政府軍と反政府軍の対立が基となった内戦が継続しており、ロシア・米国を始めとした関係各国の思惑も働いて、内戦の終息にはほど遠い状況となっています。
- ◇ 日本は米国と同盟関係にあり、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も間近になると、ソフトターゲットといわれる警戒が手薄な集客施設等を狙ったテロの発生が危惧されます。警察は、広く県民の皆様と連携を図りながら、テロの未然防止を図っていきますので、今後ともご協力をお願いいたします。

ソフトターゲットにおけるテロ対策【平成30年1月31日】

- 平成30年1月31日(水)、宮崎市橘通において開催されたプロ野球球団の歓迎パレードにおいて、ソフトターゲットに対するテロ対策が行われました。パレードは、宮崎市役所前交差点からデパート前交差点までの交通規制下で行われ、県内外から多くの観衆が集まることから、宮崎北警察署が中心となって警備体制が敷かれました。
- 車両の突入を想定した突入防止措置や、観衆に紛れ込む形で警戒員を配置するなど、無差別に行われるテロも想定した警戒警備を実施した結果、多数の来場者にも関わらず、大きな混乱もなく終了できました。



宮崎市役所前交差点側の規制状況



デパート前交差点側の規制状況

- ◎ 訓練実施などのご要望がある場合は、事務局に連絡をお願いいたします。

事務局：代表電話 0985-31-0110 (内線5792・5832)

「官民一体となったテロ対策」で、安全・安心の街づくりを！